

令和8年度までの目標	国語		算数・数学	
	自校A B層の割合	60.0%	自校A B層の割合	50.0%

目標達成に向けた取組			
3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	・月1授業検討会を実施し、「学んでいない生徒」を見つけ、支援できる力を養う。 ・すべての教科において、コの字型4人グループ学習を活用した、探究的な学習の実施。 ・学習から離脱した生徒に対して、1分以内にどの教員も適切な声かけを行う。	・各授業の終末に、最低限抑えたい知識事項の確認を10分間実施する。 ・ドリルパーク課題の定着度テスト 各学年学期に2回実施 ・実力試験の実施 2年生・年1回 3年生・年3回	・全学年家庭学習課題として、週1回、5日分相当の「ドリルパーク」課題を出し、自分のペースで学習し提出。 ・教室でも家でも自分のペースで学ぶことができるように、課題と資料で作る自習のような授業を展開する。
特に支援が必要な児童・生徒への手立て	・「これどうやるの？」と周囲の生徒とかかわりをもてるように支援する。 ・特に支援が必要な生徒には、発見後1分以内に学習の支援をする。	・各章末のまとめの時間において、1分以内に教員が適宜指導を行う。 ・放課後補習教室の指導者と連携し、個別支援をする。	・学習から離脱した生徒に対して1分以内に支援を行う。 ・ドリルパーク課題でつまづいている生徒に対して、適切な支援を行う。
成果指標	・全国学力調査 「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」肯定的な回答率 80%以上 ・評価評定（学年末）の第3観点の評価がB以上の生徒70%以上にする。	・実力試験（2年・3年） 国語・数学・英語において、標準点が50ポイント以上の生徒の割合が40%以上 ・3つの評価（全学年）学期ごとの評価で第3観点の評価が「C」となる生徒に丁寧な助言を実施。	・全国学力調査 「授業時間以外の勉強時間」1時間以上の回答率 80%以上 ・全国学力調査 「学習以外での携帯電話やスマートフォン利用時間」3時間以下の回答率 30%以上